令和元年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
第１回花見川区役所部会議事録

１　日時：令和元年７月１日（月）１５：００～１７：００

２　場所：花見川保健福祉センター３階　大会議室

３　出席者：

（１）委員

小野寺　浩一委員（部会長）、鶴見　泰委員（副部会長）、長根　裕美委員、宮葉　冨繁委員、伊藤　正和委員

（２）事務局

大崎花見川区長、立石地域づくり支援室長、太和田主査、荒木主任主事

４　議題：

（１）部会長及び副部会長の選出について

（２）平成３０年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について

ア　千葉市花見川区畑コミュニティセンター

イ　千葉市花見川区幕張コミュニティセンター

（３）その他

５　議事概要：

（１）委員の互選により、小野寺委員を部会長に、鶴見委員を副部会長に選出した。

（２）平成３０年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について

ア　千葉市花見川区畑コミュニティセンター

平成３０年度に千葉市花見川区畑コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

イ　千葉市花見川区幕張コミュニティセンター

平成３０年度に千葉市花見川区幕張コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

（３）その他

議事録の公開について、事務局から説明した。

６　会議経過：

○事務局職員　　委員の皆様におかれましては、お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

ただいまより、令和元年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第１回花見川区役所部会を開会いたします。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、地域振興課地域づくり支援室の太和田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議でございますが、市の情報公開条例第２５条に基づき、公開されております。ただし、一部非公開の部分がございますので、あらかじめご承知おきください。

傍聴人の皆様におかれましては、傍聴人要領に記載されている事項を遵守されるようお願いいたします。

それでは、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

公認会計士の小野寺浩一委員でございます。

次に、弁護士の鶴見泰委員でございます。

次に、千葉大学大学院社会科学研究院准教授の長根裕美委員でございます。

次に、花見川区町内自治会連絡協議会会計の宮葉冨繁委員でございます。

最後に、畑小地区スポーツ推進委員会会長の伊藤正和委員でございます。

どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、職員につきましてご紹介いたします。

区長の大崎でございます。

続いて、地域振興課職員です。

地域づくり支援室長の立石でございます。

荒木主任主事でございます。

以上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、花見川区長の大崎からご挨拶を申し上げます。

○大崎花見川区長　　改めまして、花見川区長の大崎でございます。

委員の皆様方には、大変お忙しい中、千葉市市民局指定管理者選定評価委員会花見川区役所部会にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

さて、本市では、指定管理者の選定過程の一層の公平性や透明性を図るため、平成２２年３月に千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例を定めまして、財務や法務の専門家や学識経験者の皆様によって構成される当委員会を設置したところでございます。

昨年度は、委員の皆様のご尽力によりまして、指定管理者が行う施設管理について適正な評価をいただくとともに、有用なご意見、そしてご提案をいただきましたこと、心から感謝を申し上げる次第でございます。

本日は、花見川区の畑コミュニティセンター及び幕張コミュニティセンターの指定管理者が行った施設管理に係る年度評価につきましてお願いをするものでございます。

委員の皆様には、大変お手数をおかけいたしますが、今年度も豊富なご意見と高いご見識により、ご審議いただきますようお願い申し上げまして、私からの挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局職員　　それでは、議事に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。

まず、委員の皆様には事前に資料をお渡ししてございますが、資料４－２の２枚目につきまして、差し換え後の資料を机上に配付してございます。お手数でございますが、議事においては、差し換え後の資料をご覧くださいますよう、よ

ろしくお願いいたします。

続きまして、事前にお渡しいたしましたファイルをお開きいただき、先頭から、「次第」、「席次表」、「諮問書」でございます。次に、資料１が「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第１回花見川区役所部会進行表」です。資料２が「花見川区役所部会委員名簿」でございます。資料３が「花見川区役所部会で審議する公の施設一覧」です。

資料４－１から４－６は「千葉市花見川区畑コミュニティセンター」の平成３０年度評価に関する資料で、４－１が「指定管理者年度評価シート（案）」となります。４－２が「指定管理者年度評価シート補足資料」です。４－３が「指定管理者モニタリングレポート」です。４－４が「事業計画書」、４－５が「事業報告書」、４－６が「指定管理者計算書類等」でございます。資料５は「千葉市花見川区幕張コミュニティセンター」の平成３０年度評価に関する資料で、枝番号は先ほどと同様となってございます。

続いて、参考資料１でございますが「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例」です。参考資料２が「千葉市市民局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について（平成２２年７月１６日　千葉市市民局指定管理者選定評価委員会議決事項）」です。参考資料３が「部会の設置について（平成２４年７月２４日　千葉市市民局指定管理者選定評価委員会議決事項）」です。参考資料４が「千葉市情報公開条例・施行規則　抜粋」となってございます。参考資料５が「評価の目安（年度評価シート）」でございます。参考資料６－１が「畑コミュニティセンターに関する市民局指定管理者選定評価委員会の意見等」でございます。参考資料６－２が、幕張コミュニティセンターに関する同様の資料でございます。

以上をお配りしてございます。

お揃いでございますでしょうか。不足等ございましたら、お知らせくださいませ。よろしいでしょうか。

それでは、続きまして、会議の成立についてご報告いたします。

本日の出席委員は、全委員の出席となっておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第１１条第７項において準用する第１０条第２項に基づき、会議は成立しております。

それでは、これより議事に入らせていただきます。

なお、部会長が決定するまでの間、大崎区長が、仮議長を務めさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

（異議なし）

○事務局職員　　それでは、大崎区長、議事進行をお願いいたします。

○仮議長（大崎花見川区長）　　では、ご承認をいただきましたので、仮議長として、会議の進行を務めさせていただきます。

それでは、議題１の「部会長及び副部会長の選出について」に入らせていただきます。

部会長の役割といたしましては、本部会の議長を務めていただくほか、部会の招集、議事録の承認等、部会を代表していただきます。

副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときは、その職務を代理していただきます。

まず、部会長の選出を行いたいと思いますが、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定

等に関する条例第１１条第４項に基づき、互選により選出したいと思います。
　どなたか、立候補、または推薦される方はいらっしゃいますでしょうか。
○鶴見委員　　部会長につきましては、公認会計士であり、また、財務等について知識も高く経験を有する方であります、小野寺委員にお務めいただきたいと思います。
○仮議長（大崎花見川区長）　　ただいま、小野寺委員を部会長に、とのご推薦をいただきましたが、いかがでございましょうか。
（異議なし）
○仮議長（大崎花見川区長）　　ほかにご意見ないようでございますので、小野寺委員を部会長に決定したいと思いますが、いかがでしょうか。
（異議なし）
○仮議長（大崎花見川区長）　　それでは、小野寺議員に部会長をお願いしたいと思います。
　小野寺部会長、部会長席のほうにお移りをお願いいたします。
　それでは、ここで小野寺部会長より、一言ご挨拶をいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。
○小野寺部会長　　ただいま紹介いただきました小野寺でございます。
　不慣れではございますけれども、指定管理者選定評価委員会の趣旨にのっとりまして、しっかりと部会を運営できるよう努めてまいりたいと思います。
　また、この指定管理者制度については、専門家であるとか市民の代表の方が集まって構成されておりますので、今後の施設の運営について忌憚ないご意見をいただいて、よりよい運営ができるように努めてまいりたいと思いますので、どうぞご協力のほどよろしくお願いいたします。
○仮議長（大崎花見川区長）　　ありがとうございました。
　それでは部会長が選出されましたので、ここで議長を小野寺部会長に交代したいと存じます。
○小野寺部会長　　それでは、次第に従いまして、議事を進行してまいります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
　まず副部会長の選出を行いたいと思います。
　こちらも互選によって選出することとなりますが、どなたか、立候補、または推薦される方はいらっしゃいますでしょうか。
　それでは、私から推薦させていただきます。
　法務に精通し、弁護士であられる鶴見委員がふさわしいのではないかと思いますので、鶴見委員を副部会長に推薦いたします。
　ほかに、ご意見ございますでしょうか。
（なし）
○小野寺部会長　　それでは、ほかに、ご意見がないようですので、鶴見委員を副部会長に決定してよろしいでしょうか。
（異議なし）
○小野寺部会長　　それでは、鶴見委員に副部会長をお願いします。
　ここで、鶴見副部会長から、一言ご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いし

ます。
○鶴見副部会長　　副部会長に選任されました鶴見でございます。部会長を精いっぱいサポートしてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
○小野寺部会長　　ありがとうございました。
　続きまして、議題２の「指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について」に入らせていただきます。
　まず、年度評価の概要について、事務局より説明をお願いいたします。
○立石地域づくり支援室長　　着座にて説明させていただきます。
　それでは、指定管理者選定評価委員会による、指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価の概要について、ご説明いたします。
　まず、年度評価についてですが、１年間の指定管理者による管理運営を評価し、現指定期間における管理運営の改善につなげることを目的とします。このため、選定評価委員会を開催し、委員の皆様からのご意見をいただく機会を設け、次年度以降の管理運営をより適正に行うために実施するものでございます。
　次に、評価の方法でございますが、まず、市が現地視察・ヒアリング等を通じて行ったモニタリングの結果や指定管理者による自己評価、指定管理者からの報告書等を踏まえ、「指定管理者年度評価シート」を作成いたします。
　選定評価委員会につきましては、市で作成した「指定管理者年度評価シート」と、指定管理者から提出された「事業報告書」、「計算書類等」などの資料を基に、選定評価委員会より、市の評価の妥当性や当該指定管理者による施設管理運営のサービス水準向上・業務効率化の方策、改善を要する点、指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するため、当該指定管理者の財務状況などに対するご意見をいただくものでございます。
　最終的に、そのご意見等の中から、部会としての意見を取りまとめていただき、それを部会長より選定評価委員会会長にご報告いただいた後、委員会会長より市に対し、答申をしていただきます。
　なお、答申でいただきました意見は、年度評価シートの「７　総括」の「（３）市民局指定管理者選定評価委員会の意見」欄に記載いたします。
　また、評価結果の取り扱いでございますが、選定評価委員会の意見を記載した「年度評価シート」について、市ホームページ上で公開するとともに、指定管理者による管理運営の改善・効率化に向けた取り組みを促進するため、評価結果を当該指定管理者に通知いたします。
　以上でございます。
○小野寺部会長　　ありがとうございました。
　それでは、ただいまの事務局からの説明について、何かご質問はございますでしょうか。
（なし）
○小野寺部会長　　よろしいでしょうか。それでは、各施設の年度評価に移りたいと思います。
　まず、千葉市花見川区畑コミュニティセンターの年度評価を行います。説明をお願いします。
○事務局職員　　座って失礼させていただきます。

まず、事前に配付しました資料について、訂正がございます。

配付いたしました資料の、４－２「平成３０年度　指定管理者年度評価シート補足資料」をご覧ください。

こちらの資料の２枚目の一番右側、下の方に記載されております、「（２）利用者サービスの充実」の「評価の修正理由」という箇所の記載内容が誤ってございました。

資料が差し換えとなってしまい申し訳ございませんが、議事におきましては、本日机上配付いたしました、右上に「資料４－２（Ｒ１．７．１修正）」と書いてございます、差し換え後の資料をご覧いただければと思います。

それでは、花見川区畑コミュニティセンターの指定管理者の行った管理・運営に対する平成３０年度評価についてご説明いたします。

資料４－１「平成３０年度指定管理者年度評価シート」をご覧ください。

まず、１ページ「１　公の施設の基本情報」ですが、ビジョン（施設の目的・目指すべき方向性）は、「コミュニティ活動を促進し、市民の連帯感を醸成することで、市民主体の住みよいまちづくりを推進すること」であり、「ミッション（施設の社会的使命や役割）」は、コミュニティ活動の場を低廉な料金で安定的に供給すること、地域の特性を踏まえ、コミュニティ活動の契機となる事業を企画・実施すること、コミュニティ活動を行う上で必要とされる情報発信の場となることの、以上３点でございます。

また、「成果指標」としまして、「①施設稼働率（諸室）」、「②施設利用者数（体育館）」の二つを設定しており、それぞれの数値目標は、①の諸室の施設稼働率につきましては、指定期間最終年度において２４．０％以上、及び平成３０年度において２２．６％となっています。

②の体育館の施設利用者数につきましては、指定期間最終年度において１万５千人以上、及び、平成３０年度において１万３，９００人となっています。

なお、これらの数値目標は、選定時に指定管理者が設定したものであり、市が示した数値目標の基準はカッコ書きで記載してあります。

また、平成３０年度の数値目標については、市が設定した数値はございませんので、カッコ書きの記載はありません。

次に、「２　指定管理者の基本情報」についてですが、指定管理者は株式会社京葉美装、指定期間は、平成２８年（２０１６年）４月１日から令和３年（２０２１年）３月３１日までの５年間でございます。

次に、「３　管理運営の成果・実績」です。まず「（１）成果指標に係る数値目標の達成状況」ですが、施設稼働率の平成３０年度の実績は２７．９％であり、最終年度数値目標に対する達成率は１１６．３％、平成３０年度数値目標に対する達成率は１２３．５％となっています。

また、体育館の施設利用者数の平成３０年度の実績は１万４，５８２人であり、最終年度数値目標に対する達成率は９７．２％、平成３０年度数値目標に対する達成率は１０４．９％となっています。

続いて、その下の「（２）その他利用状況を示す指標」ですが、諸室における施設利用者数について、指定管理者より提案をいただいているため、この項目に記載しております。

平成３０年度の数値目標は３万２００人に対し、平成３０年度の実績は２万９，５７４

人であり、数値目標には届いておりません。

次のページをお願いします。２ページの「４　収支状況」のうち、「（１）必須業務収支状況」です。「ア　収入」につきましては、平成３０年度の収入額の実績は５，０６７万６千円となっています。この中で、指定管理料の提案が計画を上回っています。これは、選定時の提案において、消費税を１０％相当で見積もっていたために生じたものです。

続いて、「イ　支出」です。平成３０年度の支出額の実績は４，８４６万４千円となっています。この中で、人件費において、最低賃金を見直したことにより、当初の計画と比べて実績が上回っております。

また、事務費・管理費においては、ＬＥＤ照明の導入や小まめな冷暖房調節などにより、光熱水費が計画と比べて減少しています。

なお、事務費・管理費と委託費において、計画と提案に大きな差がありますが、これは、本来、委託費で計上すべきものを提案時に誤って事務費・管理費で計上していたためであります。

また、その他事業費において、実績が計画を上回っておりますが、これは、音楽室にピアノを購入したことで、備品購入費が増加したためであります。

次のページをお願いします。資料３ページ目、「（２）自主事業収支状況」につきましては、収入額が４２万円、支出額が７９万１千円となっています。

以上のことから、「（３）収支状況」としましては、総収入額５，１０９万６千円に対し、総支出額４，９２５万５千円となり、１８４万１千円の黒字となっています。

なお、黒字額が総収入額の１０％を超えないことから、平成３０年度における利益の還元はございません。

次に、「５　管理運営状況の評価」です。「（１）管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）」ですが、下の点線の中に記載された評価の基準に沿って評価しております。

諸室の施設稼働率は、市設定の数値目標２３．８％に対し、実績値が２７．９％であり、達成率が１１７．２％であるため、「Ｂ」、体育館の利用者数は、市設定の数値目標１万５千人に対し、実績値は１万４，５８２人であり、達成率が９７．２％であるため、「Ｃ」と評価しています。

次に、「（２）市の施設管理経費縮減への寄与」です。市から支払っている指定管理料は選定時の提案額から２．１％の削減となっているため、「Ｃ」と評価しています。

次のページをお願いします。資料４ページ、「（３）管理運営の履行状況」について、ご説明いたします。こちらは、年度内に２回実施いたしましたモニタリングの各項目の結果を資料４－２「評価シート補足資料」に転記し、７つの分野ごとの平均値を算出して、「Ａ」から「Ｅ」までの５段階で市による評価を行っております。

まず評価項目、「１　市民の平等利用の確保・施設の適正管理」については、「Ｃ」と評価しています。特記事項に具体的な事項を記載しておりますが、２、３階諸室や各階ロビー・トイレ等をＬＥＤ化し、環境への配慮を実施した点について、市としては評価しています。

また、職員が常に休暇を取る余裕のあるシフトとすることで、リスクの管理を図るとともに、職員のライフワークバランスの向上に寄与しております。年次休暇も１００％取得

し、未消化がないよう配慮しております。

また、緊急対応時の訓練として、消防・防災設備管理会社職員を招き、消防設備・防災機器の使用時の注意などの説明を受けて訓練を実施しております。昨年度は消火栓ポンプを起動し、実際に放水訓練も行いました。

次に評価項目「２　施設管理能力」の「（１）人的組織体制の充実」については、「Ｂ」と評価しています。

指定管理者からの提案どおり、マナー教育や緊急時対応教育、バリアフリー教育などの多彩な研修を、職員の採用時に行うとともに、定期的に実施しています。昨年度はこれらに加えてクレーム対応教育、外部講師を招いてマナー・コミュニケーション研修及び手話研修も行っております。

次に「（２）施設の維持管理業務」については、「Ｃ」と評価しています。指定管理者はもともと清掃の会社であるためその強みを生かし、日常清掃に力を入れており、清掃作業責任者、所長が日々検査するとともに、本社職員による確認も行っていて、適切な管理を行っています。

また、防犯カメラを設置し、犯罪の未然防止に寄与しています。

次に評価項目、「３　施設の効用の発揮」の「（１）幅広い施設利用の確保」については、「Ｃ」と評価しています。地域新聞、ぐるっと千葉、オニオン新聞、千葉テレビ、Ｊ：ＣＯＭなど、地元マスコミを活用した広報を行うとともに、フェイスブックなどＳＮＳを活用した広報を実施しています。

また、地域の町内自治会と良好な関係を築いており、自主事業のチラシ等を自治会内で回覧してもらうなど、利用促進を図っています。

次に「（２）利用者サービスの充実」については、「Ｂ」と評価しています。この項目は、モニタリングの結果を評価の目安に当てはめますと「Ｃ評価」となるところですが、「Ｂ評価」に修正しています。

本日差し換えいたしました、机上配付資料の右上に「資料４－２（Ｒ１．７．１修正）」と書かれた書類の裏面をご覧ください。上から４段目の「年間の点数の平均値」は０．４８となっています。この０．４８という数値は「評価の目安」に照らすと「Ｃ評価」となりますが、これを「Ｂ」に修正しました。

同じ資料の今度は表のページをご覧いただきたいのですが、右から３列目には、「評価の目安」に基づき、「Ｃ」と記載されています。この評価を修正して、一つ右の欄に記載のとおり「Ｂ」としました。修正理由については一番右の列に記載していますが、自主事業として手作り石けん教室を開催し、参加者と積極的に関わり、サークル化につなげた点や、体育館でのフットサル利用開始やコンサートの開催など、体育館の利用の幅を広げたこと、ゴミの分別方法の展示に枯葉や枝の出し方を加えるなど、ニーズを捉えて利用者サービスを行っている点を高く評価し、「Ｂ」と評価いたしました。

また、戻りまして、資料４－１の４ページをご覧ください。

次に「（３）施設における事業の実施」については、「Ｃ」と評価しています。コミュニティまつり、おはなし会等の受託事業を適切に実施したほか、地域の自主防災組織である畑町防災会との共催による防災訓練や安否確認訓練、社会福祉協議会との共催による子育てサロン、幼児サロン、シニアリーダー体操のほか、福島復興イベント、東京五輪音

頭踊り方講習会など、公共性・公益性がある事業を実施しました。
また、指定管理者は市内で４つのコミュニティセンターの指定管理を行っていますが、４館合同でボッチャ交流競技会を開催し、これには障害者も参加し、競技を通じて健常者と障害者の交流を図りました。
最後に評価項目、「４　その他」については、「Ｃ」と評価しています。
また、指定管理者も自己評価をしています。
「２　施設管理能力」の「（２）施設の維持管理業務」及び「４　その他」を「Ｃ」と評価していますが、その他の項目は「Ｂ」と評価しています。その理由ですが、「１　市民の平等利用の確保・施設の適正管理」については、突発的な休暇等にも他の職員の出勤を要請せずに業務を行うことのできる、余裕のある勤務体制を構築していることなどから、自己評価を「Ｂ」としています。
次に、「２　施設管理能力」の「（１）人的組織体制の充実」については、多彩な研修を実施して職員の能力向上を図ったことなどから、自己評価を「Ｂ」としています。
次に、「３　施設の効用の発揮」の「（１）幅広い施設利用の確保」については、地元マスコミを活用したこれまでの広報のほか、Ｊ：ＣＯＭのデイリーニュース枠でのコミュニティセンター通信を開始し、情報発信を積極的に行っていることなどから、自己評価を「Ｂ」としています。
次に、「３　施設の効用の発揮」の「（２）利用者サービスの充実」については、ピアノやスクリーン、スピーカーなど、老朽化した備品の更新を行ったことや、手作り石けん教室の参加者と積極的に関わりサークル化の見込みとなったことなどから、自己評価を「Ｂ」としています。
次に、「３　施設の効用の発揮」の「（３）施設における事業の実施」については、コミュニティまつりでは、地域団体や近隣の個人にも参加を働きかけたことや、市内で４つのコミュニティセンターの指定管理を行うメリットを生かした自主事業を展開したことなどから、自己評価を「Ｂ」としています。
続きまして、「（４）市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応」ですが、昨年度２点のご意見をいただきました。
１点目、「利用者は高齢者の割合が高いため、ＳＮＳを活用し若い方に利用してもらえるような方策を検討されたい」とのご意見に対しては、フェイスブックを活用した広報、ユーチューブで配信する千葉コミュニティテレビ、Ｊ：ＣＯＭデイリーニュース枠でのコミュニティセンター通信などで情報発信を積極的に実施しております。また、予約のない諸室を「自習教室」として開放し、小中高生の利用増加を図りました。
２点目、「収支が赤字であるため、利用者数の増加や自主事業の見直しなどにより改善を図られたい」とのご意見に対しては、稼働率の増加等に伴う収入増とともに、光熱水費の他、設備機器管理費や警備費等の委託費の支出削減に努め、その結果平成３０年度の収支は１８４万１千円の黒字に転換しました。
続いて、資料５ページから６ページをご覧ください。「６　利用者ニーズ・満足度等の把握」です。
指定管理者において、８月と１月の年２回アンケート調査を行っており、その結果を記載しております。なお、カッコ書きは２回目のアンケート結果の数値を記載しています。

全体を通しておおむね良い評価をいただいており、また、いただいたご意見に対しても、適切に対応しております。

資料６ページ下の「（２）市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応」にも記載しておりますが、空調について利用者からご意見をいただいております。畑コミュニティセンターの空調設備は旧式であり、効きが悪いため、指定管理者で工夫している点について記載してございます。

最後に、資料７ページ、「７　総括」です。

まず、（１）として指定管理者による自己評価を記載しております。指定管理者の総括評価としては、諸室の稼働率が前年実績、年間目標ともに大きく上回ったことや、自主事業を含む収支が稼働率の増加等に伴う収入増とともに光熱水費などの支出削減に努め、平成３０年度は１８４万１千円の黒字になったことなどから、「Ｂ」と評価しております。

また、（２）に市による評価を記載しております。

資料４－１の３ページから４ページに記載されております市の評価全１０項目について、Ｂ評価が３つ、Ｃ評価が７つであることから、これを参考資料５の、２ページ目に当てはめますと、評価項目の２０％以上が「Ａ」または「Ｂ」かつ評価項目に「Ｄ」または「Ｅ」がないものに該当するものとして、市の総括評価としては、「Ｂ」と評価しております。

その所見としましては、諸室の稼働率が平成２９年度実績から大きく向上するとともに、最終年度の数値目標を達成している点や、地元マスコミを活用した広報や、照明器具のＬＥＤ化や太陽光発電設備の設置による光熱水費の削減、公共性のある自主事業の開催など、指定管理者の特色を生かした事業を行った点などを高く評価しています。

また、指定管理者は市内で４つのコミュニティセンターの指定管理を行っており、福島復興イベントや写真展、卓球大会など４館合同イベントを実施しておりますが、平成３０年度は新たにバドミントン大会やボッチャ競技交流会を開催するなど、引き続き４館で連携した管理・運営を行っています。今後も、スケールメリットを生かした事業を期待したいと考えております。

なお、諸室の利用者数は２万９，５７４人と前年の２万９，０９１人を若干上回るものの、平成３０年度の目標である３万２００人に届いておりません。一方、体育館の利用者数は、フットサルの利用開始などの工夫が見られ、１万４，５８２人と平成３０年度の目標、１万３，９００人は達成しているものの、前年１万４，８６７人を下回っているため、さらなる利用促進を期待したいと考えます。

畑コミュニティセンターの説明につきましては、以上でございます。

○小野寺部会長　　ただいま、所管から一通り説明をいただきまして、畑コミュニティセンターの年度評価につきまして、評価案が提示されました。

まずはじめに、この市当局が作成した評価の妥当性について、委員の皆様からご意見をお聞きしたいと思います。

後ほど、サービス水準の向上とか、業務効率の方策、改善を要する点等についてはご意見をお伺いしますので、ここでは市が作成した評価の妥当性についてのご意見をお聞きしたいと思います。

ご質問も含めて、何かございましたらお願いいたします。

○鶴見委員　　まず、昨年こちらから指摘させていただいた赤字の解消については、大幅な黒字を見込んだということで、かなり評価ができると考えております。

あと諸室の稼働率についても大幅に目標を超えておりますので、この点についても評価できるというふうに考えております。

あと体育館の利用者数については、最終的な目標まであともう少しというところなので、この辺の改善をしてもらいたいというところでございまして、総合評価をすると「Ｂ」という市の評価は妥当なのではないかというふうに考えます。

以上です。

○小野寺部会長　　ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

では、私の方からちょっと質問ですけれども、市の評価の、資料４－１の４ページ目、「（３）管理運営の履行状況」のところ、先ほど詳細に説明はいただいたのですけれども、ちょっともう一回聞きたいのが、指定管理者の自己評価が「Ｂ」のところ、それに対して市としては「Ｃ」にしたところが幾つかあって、ちょっとその理由も少し説明されていましたけれども、指定管理者が具体的に「Ｂ」と評価した理由について、市としてそれがトータルで「Ｃ」評価になったという、ちょっと理由をそれぞれ教えていただけますでしょうか。

○事務局職員　　まず指定管理者の自己評価というのは、特に明確な基準というものがなくて、この資料４ページでいうところの点線の中ですが、四角の点線の中に記載されている基準では、水準どおりの管理運営が行われたと判断すれば「Ｃ」、水準以上、水準を上回る優れた管理運営が行われたと判断すれば「Ｂ」と判断するところなのですが、市の評価というのは、最初に説明がありましたけれども、年２回のモニタリングを、昨年で申し上げますと１２月と３月に実施しましたモニタリング、その結果が資料４－３に記載してございますが、そのモニタリングの結果を基に市の評価というのが確定するため、そこの点が評価の方法は違うという点がございますので、差が生じてしまうというのが、まず全体的に言えるかと思います。

○小野寺部会長　　そうなのですよね。そうは言っても、この市の評価の方はおっしゃるように、このモニタリングのこの結果に基づいて、「◎」がつかないとプラスに多分ならないですよね。

○事務局職員　　そうですね、「◎」がついても評価項目が多いと、結局平均にならしてしまうと、「Ｂ」評価にまでならない。資料４－２の１ページ目を見ていただきたいのですが、１ページ目の右から３行目の「市の評価の目安」というところなのですけれども、例えば「Ｂ」であれば平均値がプラス０．５以上、または平均値がプラス１．５以上かつ、いずれかのモニタリング結果に「×」があるという場合、「Ｂ」評価にすることができるのですけれども、例えば１ページ目の「１　市民の平等利用の確保・施設の適正管理」というところが評価項目で１７～１８項目ございますので、一つのところで「◎」と評価しても、結局平均化されてしまうと、評価としては下がってしまいまして、その結果「Ｃ」になってしまうという、なかなか指定管理者が「Ｂ」にしても、市の評価としては「Ｃ」になってしまうというところがございます。

○小野寺部会長　　結局そうなのですよね。だから別に、指定管理者がものすごく頑張っ

ているアピールをしているのを市が闇雲に否定しているわけではなくて、このやり方、計算上、定性的なものを定量的に評価し直そうとするときに、明確な基準があるので、項目が多いと、「◎」がたくさんないと数字が上がらないからこうなっているという、そういう理解で、せざるを得ないですよね。

だとすると、評価に関してこういうものなので、指定管理者の自己評価の基準というのをもう一回説明してあげたほうがいいのかなという気はちょっとするのですけれども、評価自体は合っているということは理解しました。

ほかにございますでしょうか。他の委員の方。

私からでは、もう一ついいですか。資料４－１の３ページ上のほうに「（２）自主事業収支状況」、これがあって先ほど説明があったとおり収入は４２万円でした。一方、支出のほうは７９万１千円でしたので、自主事業単体で見ると赤字です。これは当初の計画どおりだと思うのですけれども、ではこの内容はどうだったのかなというと、皆さん資料４－５の事業報告の方をちょっと見ていただいて、資料４－５はものすごいボリュームがありますけれども、２２ページのところを皆さんご覧いただけますか。

ここで自主事業、それぞれいつ、どういうのをやって、参加人数が何人で収入が幾らで支出が幾らですと。これ内訳なのですよね。たしか去年ちょっと意見が出たような気がするのですけれども、一番赤字の幅が大きいのは３９番のコピー機なのですよね。これは利用者の方の評判もいいので、大体どこの施設も自主事業でコピー機をもってきて安く使ってもらっているから赤字が出るという、そういうものなのですけれども。それ以外で参加者に対して収入支出の差し引きが多い少ないってあるのですけれども、効率のいいものと、そうでないものが散見されるかもしれないですね。先ほど積極的に評価されていた手作り石けんというのは１４万かけて１３万の収入があって、参加人数６５人、まあまあ費用対効果があったのかなとは思います。

そういったことも含めて、すみません、ちょっと長くなってしまいましたけれども、私も全体としては市の評価、最終的に資料４－１のほうに戻って７ページの総括の評価、指定管理者の自己評価は「Ｂ」と、それに対して市による評価も「Ｂ」であるという結論に対しては、妥当ではないかなと考えました。

ほかにご意見ございませんでしょうか。

（なし）

○小野寺部会長　　それでは、皆様からさまざまな意見をいただきましたけれども、いただいた意見を総合しますと、市の評価が妥当であるということにしてよろしいでしょうか。

（異議なし）

○小野寺部会長　　ありがとうございます。

それでは、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等について、「指定管理者年度評価シート」等を基に、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。何かご意見はございますでしょうか。

○鶴見委員　　先ほど申し上げたところに関連するのですけれども、本年、昨年度の赤字を解消して、黒字になったということは非常に評価できますので、この点についても次年度以降維持されたいというふうに思っております。

また、最終年度数値目標に体育館の利用者数がまだ及んでおりませんので、この点につ

いては利用者数を増やすための方策を用いて、改善していただきたいというふうに申し上げたいと思います。

以上です。

○小野寺部会長　　ありがとうございます。

ほかにご意見ございますでしょうか。

私のほうからでは少し。また資料４－１の５ページをちょっと皆さんご覧いただきたいのですけれども。これ毎回だと思うのですけれども、５ページの真ん中辺にアンケート結果の満足度に関する質問のところで、「おおむね満足」、「大変満足」が一番多くて、その次に「普通」が多いと。「不満足」、「非常に不満足」というのは少ないのですけれども、その中で特に目立つのが空調なのですよね。「空調（特に冷房）」というところ。ここの不満足度が２３．２％で、やや高いですよね。これっていうのは、施設の設備の構造的な問題で冷房が効きづらいということ、それからどこかにも書いていましたけれども、冷房は５月からスタートするので４月は切り換えができないので、どうしても暑くなってしまうということで、管理者としてはその辺わかっているので、大きな扇風機を買って循環させたりだとか、一生懸命やっているとは思うのですけれども、それでもやっぱり利用者にアンケートをとると、こういう結果が出てしまいますよね。これってやっぱり、不満の数としては多いのかなと思いますので、管理者にも引き続き努力してもらうということとともに、市の方とももう少しお話をして、何か改善できる余地がないのかというのを早急に検討して、できることがあれば市の方も協力してやっていただきたいなというのが一つの意見でございます。

あと、ごめんなさい、もう一つです。同じ５ページのところで、今度は一番下の方、「エ　独自質問」。ここで一番下、予約はＰＣで行うということに対して、これは、「いいえ」が多いということですよね。だから、やっぱり利用者の年齢層からして、やっぱりまだパソコンやスマホというよりは、窓口に行って利用するのが多いのが現状なのだとは思いますけれども、そうは言っても時代の流れからしても、パソコンの方の予約に誘導していくということが明確な方法になっていると思うので、その利用者とのギャップはあるものの、ＰＣで予約をもうちょっと推進できるように、利用者に対する案内ですね、そういったことをお願いしていきたいなというのが意見でございます。

ほかに何かご意見ございますでしょうか。

○長根委員　　資料４－１の４ページ（４）なのですけれども、前回、利用者が高齢者の割合が高いので、ＳＮＳを活用して広報するということも、この場でも審議して、そしてもう実際に活用なさったということも非常に改善なのではないかなと思うのですけれども、フェイスブックを活用したと書いてあるのですが、フェイスブックというのは中高年の方がよく使うＳＮＳツールで、そんなに若い方とか、特に学生さんだとか、それくらいの若い方って余り使わないようなのです。これ統計的にもそういう何でしょう、結果が出ていたりとかするのですけれども。なので、この若い方々の利用率というのはやはりまだ高くないので、できればツイッターだとか、それで一方的に、双方向だといろいろ職員の方の負担もふえると思うので、あくまでも広報ツールとしてツイッターだとかで、こういう存在があって使えますよみたいなことをすると、より若い方々に存在がアピールできるのではないかなというふうに考えます。

○小野寺部会長　　ありがとうございます。
　その辺、私も追加で意見しますと、フェイスブックより、最近インスタグラムのほうが何か発信力があるような気がするのですよね。
○長根委員　　インスタグラムは何でしょう、映え系なので、私もちょっと考えたのですけれども、情報発信はツイッターかなと思って。
○小野寺部会長　　いろいろその辺も変わってくるでしょうから、何がいいのかというのを常に研究していっていただきたいなと思います。
　ほかにございますでしょうか。
　宮葉委員、何かございませんでしょうか。
○宮葉委員　　特にありません。こちらの畑のほうがちょっと幕張より遠いのでというか、近場ではないので、ちょっと足で出かけることもちょっと少ないので感想はありません。
○小野寺部会長　　わかりました。
○伊藤委員　　畑の住人なので、畑コミュニティセンターは、会議等でよく使用しています。確かに空調については、サマーキャンプの受付の時、受付場所の部屋の空調は効いていますが、待機する廊下・階段で順番を待つ保護者・児童は暑さに耐えなければならないような状態でした。見かねた職員が、少しでも涼しくなるよう、送風機・扇風機・うちわを用意して対応してくれました。空調面が改善されれば、もっと使いやすく、またセンターを活用する人が増えると思いました。
　以上でございます。
○小野寺部会長　　その辺は市のほうに強いメッセージとして届けないといけないなと思います。
　それでは、意見は出たと思いますので、事務局で取りまとめをお願いできますか。

　皆さんお待たせしました。
　それでは委員の皆様からさまざまな意見をいただきましたけれども、施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等の主な意見といたしましては、体育館の利用率の向上を図ってほしいということ、冷房への不満解消に向けて市と協議を図って改善をしていただきたいということ、パソコンの予約の利用率向上が図られるように改善をお願いしたいということ、ツイッターやインスタグラムを利用するなど、若い層へ向けた広報を行えるように改善を図っていただきたいという４点でした。
　これらを踏まえて本部会の意見とすることでよろしいでしょうか。
（異議なし）
○小野寺部会長　　ありがとうございます。
　それでは、次に、年度評価では指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握することとなっています。
　これから計算書類等を基に指定管理者の財務状況等に関する意見交換を行うことになりますが、一部の資料は一般には公開されていない法人等情報を含んでおりまして、千葉市情報公開条例第７条第３号に該当する不開示情報となりますので、同条例第２５条ただし書きの規定によりまして、ここからの会議は非公開といたします。
　傍聴人の方、恐れ入りますが、一度退出をお願いいたします。

［傍聴人　退室］

（※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第７条第３号に該当する情報（法人等情報）が含まれているため、表示していません。）

○小野寺部会長　　お待たせしました。

それでは、財務状況の意見としましては、提出された計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とはいたしますが、不健全なものは見られず、指定管理者の倒産撤退のリスクはないということでよろしいでしょうか。

（異議なし）

○小野寺部会長　　それでは、傍聴人の方を中に案内していただけますでしょうか。

［傍聴人　入室］

○小野寺部会長　　それでは次に、千葉市花見川区幕張コミュニティセンターについて、評価を行います。

事務局より説明をお願いいたします。

○事務局職員　　それでは、花見川区幕張コミュニティセンターの指定管理者の行った管理・運営に対する平成３０年度評価についてご説明いたします。

資料５－１「平成３０年度指定管理者年度評価シート」をご覧ください。

まず、１ページの「１　公の施設の基本情報」ですが、ビジョン（施設の目的・目指すべき方向性）とミッション（施設の社会的使命や役割）は、畑コミュニティセンターと同じのため省略させていただきます。

また、成果指標としまして、「①施設稼働率（諸室）」、「②施設利用者数（体育館）」の二つを設定しており、それぞれの数値目標は、①の諸室の施設稼働率につきましては、指定期間最終年度において４６．４％以上、及び、平成３０年度において４２．０％となっています。

②の体育館の施設利用者数につきましては、指定期間最終年度において３万７千人以上、及び、平成３０年度において３万５，３００人となっています。

なお、これらの数値目標は、選定時に指定管理者が設定したものであり、市が示した数値目標の基準は、カッコ書きで記載してあります。

また、平成３０年度の数値目標については、市が設定した数値はございませんので、カッコ書きの記載はありません。

次に、「２　指定管理者の基本情報」についてですが、指定管理者は株式会社京葉美装、指定期間は、平成２８年（２０１６年）４月１日から令和３年（２０２１年）３月３１日までの５年間でございます。

次に、「３　管理運営の成果・実績」です。まず「（１）成果指標に係る数値目標の達成状況」ですが、施設稼働率の平成３０年度の実績は４７．３％であり、最終年度数値目標に対する達成率は１０１．９％、平成３０年度数値目標に対する達成率は１１２．６％となっています。

また、体育館の施設利用者数の平成３０年度の実績は３万６，８１５人であり、最終年度数値目標に対する達成率は９９．５％、平成３０年度数値目標に対する達成率は１０４．３％となっています。

続いて、その下の「（２）その他利用状況を示す指標」ですが、諸室における施設利用

者数について、指定管理者より提案をいただいているため、この項目に記載しております。平成３０年度の数値目標７万５，６００人に対し、平成３０年度の実績は７万６，８０５人であり、数値目標を上回っております。

次のページをお願いします。２ページの「４　収支状況」のうち、「（１）必須業務収支状況」ですが、「ア　収入」につきましては、平成３０年度の合計収入額の実績は５，１８４万２千円となっています。この中で、指定管理料の提案が計画を上回っています。これは、選定時の提案において、消費税を１０％相当で見積もっていたために生じたものです。また、利用料金収入の実績が計画を上回っています。これは諸室の稼働率が増えたことが、その要因となっております。

続いて、「イ　支出」です。平成３０年度の合計支出額の実績は４，８２６万９千円となっています。この中で、人件費においては、業務効率化による時間外勤務を縮減したことで、実績が計画を下回っています。

また、事務費・管理費においては、ＬＥＤ照明の導入や小まめな冷暖房調節などにより、光熱水費が減少したことで、実績が計画を下回っております。

また、委託費において、再委託業務の一部を指定管理者が直接実施したことで、経費の削減をしております。

なお、事務費・管理費と委託費において、計画と提案に大きな差がありますが、これは、本来、委託費で計上すべきものを提案時に誤って事務費・管理費で計上していたためであります。

次のページをお願いします。資料３ページ目、「（２）自主事業収支状況」につきましては、収入額が８８万５千円、支出額が１１２万５千円となっています。

以上のことから、「（３）収支状況」としましては、総収入額５，２７２万７千円に対し、総支出額４，９３９万４千円となり、３３３万３千円の黒字となっています。

なお、黒字額が総収入額の１０％を超えないことから、平成３０年度における利益の還元はございません。

次に、「５　管理運営状況の評価」です。「（１）管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）」ですが、下の点線の中に記載された評価の基準に沿って評価しております。

諸室の施設稼働率は、市設定の数値目標４６．３％に対し、実績値が４７．３％であり、達成率が１０２．２％のため「Ｃ」、体育館の利用者数は、市設定の数値目標３万７千人に対し、実績値は３万６，８１５人であり、達成率が９９．５％のため、「Ｃ」と評価しています。

次に、「（２）市の施設管理経費縮減への寄与」です。市から支払っている指定管理料は選定時の提案額から２．５％の削減となっているため、「Ｃ」と評価しています。

次のページをお願いします。資料４ページ、「（３）管理運営の履行状況」について、ご説明いたします。こちらは、年度内に２回実施いたしましたモニタリングの各項目の結果を資料５－２「評価シート補足資料」に転記し、７つの分野ごとの平均値を算出して、「Ａ」から「Ｅ」までの５段階で市による評価を行っております。

まず評価項目、「１　市民の平等利用の確保・施設の適正管理」については、「Ｃ」と評価しています。特記事項に具体的な事項を記載しておりますが、本館の照明のＬＥＤ化

を進め、全照明の９割がＬＥＤ化したことや、太陽光パネル設置の効果により、光熱水費が削減している点は市としても評価しております。

また、職員が常に休暇を取る余裕のあるシフトとすることで、リスクの管理を図るとともに、職員のライフワークバランスの向上に寄与しております。年次休暇も１００％取得し、未消化がないように配慮しております。

また、災害備蓄倉庫を新設し、地域の避難所運営委員会と連携しながら備蓄品の管理を行っております。

次に評価項目、「２　施設管理能力」の「（１）人的組織体制の充実」については、「Ｃ」と評価しています。指定管理者からの提案どおり、マナー教育や緊急時対応教育、バリアフリー教育などの多彩な研修を、職員の採用時や、定期的に実施しています。昨年度は接客に関する苦情を受けて、接客講習を実施し、接客能力の向上を図りました。

次に「（２）施設の維持管理業務」については、「Ｃ」と評価しています。指定管理者はもともと清掃の会社であるため、その強みを生かし、日常清掃に力を入れており、清掃作業責任者、所長が日々検査するとともに、本社職員による確認も行っており、適切な管理を行っています。

また、修繕を外注ではなく、可能な限り直接実施している点は、市としても評価しております。

次に評価項目、「３　施設の効用の発揮」の「（１）幅広い施設利用の確保」については、「Ｃ」と評価しています。地域新聞、千葉日報、千葉テレビ、Ｊ：ＣＯＭなど、地元マスコミを活用した広報を行うとともに、フェイスブックなどＳＮＳを活用した広報を実施しています。

また、自主事業として、広報誌「幕張コミュニティセンターだより」を発刊しておりますが、平成３０年度は年１２回の発刊を行い、平成２９年度の年８回を上回る発刊により広報を実施し、施設の利用を促進しました。

次に「（２）利用者サービスの充実」については、「Ｂ」と評価しています。利用者からの要望を受けて、体育館への扇風機の設置、諸室へのミラーの設置を行うなど、利便性を高めるよう努めております。

また、空きスペースへのサークル作品の展示や、旧幕張地区の写真を展示するなど、来場者の心を和ませる空間創りを行っている点は、市としても評価しております。

また、職員が手話講習を受講するとともに、ロビーに手話の掲示を行うなど、耳が不自由な利用者への配慮も行っております。

次に「（３）施設における事業の実施」については、「Ｃ」と評価しています。コミュニティまつり、おはなし会等の受託事業を適切に実施したほか、料理教室、コンサート、寄席など、特定の年代や性別に偏らない自主事業を実施し、多くの参加者を得ました。

また、指定管理者は市内で４つのコミュニティセンターの指定管理を行っていますが、４館合同でボッチャ交流競技会を開催し、これには障害者も参加し、競技を通じて健常者と障害者の交流を図りました。

最後に、評価項目、「４　その他」については、「Ｃ」と評価しています。

また、指定管理者も自己評価をしています。

「２　施設管理能力」の「（２）施設の維持管理業務」については、日常清掃に力を入

れていることや修繕を積極的に実施したことなどから、自己評価を「Ｂ」としています。
また、「３　施設の効用の発揮」の「（２）利用者サービスの充実」については、体育館更衣室への扇風機の設置や諸室へのミラーの設置など、利用者からの要望に迅速に対応し利便性の向上を図ったことや、職員の手話講習の受講やロビーに手話の掲示を行うことにより耳が不自由な利用者への配慮を行ったことなどから、自己評価を「Ｂ」としています。
その他の項目は、「Ｃ」と自己評価しています。
次に、「（４）市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応」ですが、昨年度３点のご意見をいただきました。
１点目、「施設稼働率、施設利用者数ともに大幅に増加している点は高く評価できる。引き続き向上に期待したい」とのご意見に対しては、利用者目線での利便性の向上と、必要な備品の新規購入や保守管理を継続的に行うことで、利用料金収入・施設稼働率・施設利用者数は、昨年度に引き続き年間目標を上回りました。
２点目、「収支が赤字であるため、自主事業の見直しなどにより改善を図られたい」とのご意見に対しては、既存の自主事業の見直しや新規の自主事業の展開など、利用者のニーズに沿う事業を実施して収支の改善を図りました。また、光熱水費の削減や再委託業務の一部を直接実施したことによる経費削減の結果、平成３０年度は３３３万３千円の黒字に転換しました。
３点目、「障害者を雇用するとの提案であるため、障害者を雇用するよう図られたい」とのご意見に対しては、平成３０年４月より障害者を１名雇用しております。
次のページをお願いします。続いて、資料５ページから６ページをご覧ください。
「６　利用者ニーズ・満足度等の把握」です。指定管理者において、８月と１月の年２回アンケート調査を行っており、その結果を記載しております。なお、カッコ書きは２回目のアンケート結果の数値を記載しています。
全体を通しておおむね良い評価をいただいておりますが、駐車場については、「増やしてほしい」「幅を広げてほしい」とのご意見をいただいており、前年度に引き続き、駐車場に関する不便を感じていることが窺えます。
資料６ページ下の「（２）市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応」にも利用者からのご意見を記載しております。
図書室職員の接客態度への苦情については、直ちにクレーム内容を周知し、全職員に対して接客の原則・基本の確認を行い、次の休館日には全職員を対象とした実習つきの接客講習を実施しております。
また、トイレの修繕要望については、施設の利用に支障を来していたため、修繕を実施しました。
最後に、資料７ページ、「７　総括」です。まず、（１）として指定管理者による自己評価を記載しております。指定管理者の総括評価としては、諸室の稼働率・利用者数、体育館の利用者数、利用料金収入ともに年間目標を上回ったこと、施設内のＬＥＤ化をほぼ完成させるとともに空調の稼働調節を小まめに行うことでさらなる光熱費の削減を図ったことなどから、「Ｂ」と評価しています。
また、（２）に市による評価を記載しております。資料４－１の３ページから４ページ

に記載されている市の評価全１０項目について、「Ｂ」評価が１つ、「Ｃ」評価が９つであることから、これを参考資料５の２ページ目に当てはめますと、評価項目の「Ｄ」が２０％以下、かつ評価項目に「Ｅ」がないものに該当するものとして、市の総括評価としては、「Ｃ」と評価しております。

その所見としましては、障害者を雇用するよう図られたいとの昨年度の評価委員会の意見を受け、直ちに障害者の雇用を実施している点や、諸室の稼働率、体育施設の利用者数は、昨年度に引き続き年間目標を上回っている点、また、地元マスコミを活用した広報、照明器具のＬＥＤ化や太陽光発電設備の設置による光熱水費の削減、公共性のある自主事業の開催など、指定管理者の特色を生かした事業を行った点は、市としても評価しています。

また、体育館更衣室への扇風機の設置や諸室へのミラーの設置など、利用者からの要望に迅速に対応していることや、卓球ネットを購入しボールが散らばらないような工夫をしている点、体育館利用者に待ち時間に冷暖房の効く教官室を開放している点は、利用者の好評を得ており、この点も評価しています。

また、指定管理者は市内で４つのコミュニティセンターの指定管理を行っており、福島復興イベントや写真展、卓球大会など４館合同イベントを実施しておりますが、平成３０年度は新たにバドミントン大会やボッチャ競技交流会を開催するなど、引き続き４館で連携した管理・運営を行っています。今後も、スケールメリットを生かした事業を期待したいと考えています。

一方で、職員の接客に関する苦情を受けたことから、利用者目線で対応することと接客の重要性を意識して業務に臨んでいただきたいと考えております。

幕張コミュニティセンターの説明につきましては以上でございます。

○小野寺部会長　　ただいま、所管から一通り説明をいただきまして、幕張コミュニティセンターの年度評価につきまして評価案が示されました。

まずはじめに、この市当局が作成した評価の妥当性について、委員の皆様からご意見をお聞きしたいと思います。

ご質問も含めて、何かございましたらお願いいたします。

○鶴見副部会長　　これも畑のほうと同じなのですが、前年度赤字ということで指摘させていただきましたが、これにつきましては大幅な黒字転換をしているということで、この点については評価できると思います。

また諸室の利用についても目標を大幅に上回っているという点で、評価ができるというふうに考えます。

あとは、スポーツ施設の利用者数の目標達成というところのみでございますので、市の評価についても妥当なところではないかというふうに思います。

以上です。

○小野寺部会長　　ありがとうございます。

ほかに。

○宮葉委員　　この幕張コミュニティセンターにおいては、割と広いロビーがあります。ロビーについて時々行くときに見ますけれども、かなりの人が使っていますよということで、この管理運営の成果実績等でもって何％を達成しましたよとありますが、これみんな

見ると、施設の稼働率が部屋をどう借りたかと。それから、体育館の何を借りたかというデータですけれども、私、個人的な考えとすればロビー活動というのはかなりやっているので、こういうような何ていうか、活動の評価というものをどこかでもって点数を上げられないのでしょうかなと思って。それが一つ。

多分、こちらのほうの何ですか、畑さんのほうのロビーは余り大きくないのですが、ここはとにかく多くて、結構いつも私は話をしますが、地域の学生さん等も多いのですが、地域の住民といいますか、お年を取った人たちもよく、時々見ますから、そういう面の稼働率に寄与するデータというのはどこかで評価すべきかなと考えております。

それと、もう一つは駐車場の件云々と言われましたけれども、対応策が一応隣の小学校を利用したりするという策を講じられておるということなので、一応これは頑張って彼らもやっているなと、そのように評価したいと思います。

以上です。

○小野寺部会長　　ありがとうございます。

ただいまのロビーでの活動、いろいろな利用者がいらっしゃる、それについて評価してあげられないのかという、これ事務局のほう。

○立石地域づくり支援室長　　結構、私も見に行って、ロビーが活用されています。またロビーの他に幾つか空きスペースも２階とか３階にある中で、そこで幕張の写真展をやっていたりとか、各種展示を考えてもらっています。

今年度の話になっちゃうのですけれども、今年度は市のほうと協力した大賀ハスのパネル展をやったりとかということをやっていただいているので、その辺としましては、４ページの各館の管理の運営状況、３の施設の効用の発揮、利用者サービスの充実、この辺で一応特記事項にも書いてあるのですけれども、空きスペースのサークル先の展示や写真展の展示、来場者のコーナー、空間づくりを評価できると。この辺に含めて評価しているところでございます。

○小野寺部会長　　数量にはカウントできないけれども、定性的には評価はされていると。

○宮葉委員　　定性的には認めていると。

○小野寺部会長　　展示をされているということ。数えようとしたら、そのためには。

○宮葉委員　　できないですよ。それはちょっと難しいなとは思いつつ、よく沢山おられるなというのが感想ですかね。

○小野寺部会長　　引き続き評価をしていっていただければと思います。

ほかに評価の妥当性について、ご意見ございますでしょうか。

（なし）

○小野寺部会長　　では、ちょっと私の方からまた同じような確認ですけれども、資料５－１の７ページ、総括の評価で、指定管理者の自己評価ですと、総合評価「Ｂ」ということに対して、市の評価は総合評価は「Ｃ」と。これも自己評価と市の評価が違うのですけれども、何が違ったかというのを、またご説明いただけますでしょうか。

○事務局職員　　先ほどの畑コミュニティセンターのときと同じ話になってしまうのですが、評価の仕方という中で「Ｃ」と「Ｂ」という差が生じてしまっております。

ちなみにちょっと昨年度の資料を確認したのですが、昨年度は３ページでいうところの「５　管理運営状況の評価」が施設稼働率と、施設利用者数、これがともに市の評価とし

て、「Ｂ」評価になっているのです。それ以外にも４ページに「（３）管理運営の履行状況」がやはり「Ｂ」評価が１つありますので、市による総括評価として、昨年度は「Ｂ」という評価をいたしておりました。

ただし、今年度につきましては、３ページの「５　管理運営状況の評価」が「Ｂ」に当たらなかったというところで、結果として市の評価は「Ｃ」となってしまっているというところでございますので、特別どれがというのは、申し訳ございません、難しいところであるのですが。

○小野寺部会長　　わかりました。今の説明も含めて結局、この３ページで利用者の人数とか稼働率とか、ここでやっぱり「Ｂ」が来ないとトータルでは「Ｂ」にしづらいですよね。数字で結果を出した上で、定性的な部分、４ページのところももうちょっと「Ｂ」があれば、「Ｂ」かもしれないけれども。

そういう意味で私も市の評価を「Ｃ」に変えた、この評価で妥当ではないかと思いました。

それでは、おおむね意見が出尽くしたと思いますので、皆様からの意見を総合いたしますと、数字面で評価できる部分もありますし、ロビーでの活動も定量的に評価できないけれども、定性的に評価に加えていただいているということなので、市としての総括の評価は「Ｃ」ということですけれども、これは妥当であると判断するということで、よろしいでしょうか。

（異議なし）

○小野寺部会長　　ありがとうございます。

それでは、次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等について、「指定管理者年度評価シート」等を基に委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。

何か意見はございますでしょうか。

○鶴見委員　　これも先ほど同じなのですけれども、本年度は大幅な黒字を達成しておりますので、これについてまた維持できるように努力していただきたいという点がございます。

それと、あとスポーツ施設の利用状況については、まだ施設数値目標に達成していない部分がありますので、この点も達成できるように努力していただきたいというふうに思います。

以上です。

○小野寺部会長　　ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

○宮葉委員　　これ自主事業収支の話まで入っちゃっていいのかな。

○小野寺部会長　　はい。

○宮葉委員　　今たまたま幕張のほうを見ているのですが、資料５－５の中ほどくらいに、自主事業収支一覧ってありますけれども、この中で２番目のここ、自主事業って大体トントンかマイナスになるのですが、この中を見るとスポーツ用具貸し出しでもって収入がたくさんありましたよと。畑を見たりすると、畑の方にはこういう貸し出しを収入にするという項目がないような感じがするのですけれども、これコミュニティセンターは同じ経営

者だから、どうなのですか。あるのとないのと数字がえらい違う。
○小野寺部会長　　それ事務局、わかりますか。
○宮葉委員　　用具貸し出しでかなりの高い金をもらっていると、それはわかりませんよ。畑はどこに項目が逆にあるかわからない。
○立石地域づくり支援室長　　そうですね、宮葉委員がおっしゃるとおり幕張のスポーツ用具の貸し出し、これはちょっと聞いた話ですと、かなり利用者からの要望が強かったというのが。
○宮葉委員　　要望というのは、どういう意味。
○立石地域づくり支援室長　　例えば学生が借りてくるときに、ラケットとか持って来ないで学校の帰りに直接来て、用具がなければ、もし用具があればそのまま学校の帰りに来れて、バドミントンができたりするという、そのような要望があったということで、幕張のほうでは手ぶらで来てもすぐできるような形を採りたいということで、やったというふうに聞いています。
○宮葉委員　　手ぶらで有料ですよと。幕張の場合は。
○立石地域づくり支援室長　　そうですね。
○宮葉委員　　畑は。
○小野寺部会長　　畑はやっていないということですね。
○立石地域づくり支援室長　　そうです、やっていないです。学生さんが結構、体育館に学校の帰りに来るというのは聞いていますので、学校に例えばバドミントンのラケットですとか、そういうのを持っていかないで、授業が終わった後に直接来て、バドミントンをやって帰る形の要望があったというふうには聞いております。
○宮葉委員　　この項目だけで、あとすべての収支の話の報告はわかるのだけれども、これだけイレギュラーかなと思って、対応がね。そういう事情があるのですか。
　畑さんの場合は自分で。
○立石地域づくり支援室長　　畑の場合ですと、周りに高校とかがありませんので。幕張ですと皆さんご存じのとおり昭和秀英ですとか、渋谷幕張ですとか、結構高校とか、あと大学等があるので、花見川区ではなくて美浜区の中に学校があるのですけれども、どうしても幕張コミュニティセンターも近いので、結構来るようなことは聞いております。
○宮葉委員　　だからこの収支でもって成績を評価しているからですか。全般で。基本的な仕組みが違っちゃったら評価もまたおかしくなっちゃうのではないかなと思っている。
○立石地域づくり支援室長　　それぞれ畑と幕張、指定管理者は同じなのですけれども、それぞれ地域によった貸し出し方法を考えていますので、やっぱりこれは片方がやっていなくても、特に問題はないのかなとは思っております。
　その地域の要望に合ったニーズに応えて、いかにコミュニティセンターをもっていくかということを考えていただきたいと思っています。
○宮葉委員　　もしおかしいようだったら検討してください。地域性を尊重するということであれば、それで良しとします。
○小野寺部会長　　ほかにございますでしょうか。
○宮葉委員　　それからもう一つ。私、幕張に住んでいるということで、どっちかというと幕張コミュニティセンターの方が、いろいろな情報とかキャッチしやすくて、開催等に

ついて畑の方が何か地域の町内自治会等にお知らせを配るところがありますけれども、残念ながら幕張方面はちょっとそれが不足しているのではないかなと思いますので、ちょっと発破をかけておいていただきたい。秋の文化祭というのですか、その１回切りなのですよ。
○立石地域づくり支援室長　　いろいろな催し物のお知らせが回ってこないということですか。
○宮葉委員　　回ってこない。
○立石地域づくり支援室長　　わかりました。その辺は指定管理者のほうに申し伝えておきます。
○宮葉委員　　幕張の周りで一番中心は公民館が中心になっちゃっているから。公民館の情報は年がら年中回っていますけれども、コミュニティセンターは外れになっちゃって。これは言いたくないけれども、美浜住人の人たちは情報をよくキャッチできるのだけれども、我々ができないというところが。その辺よろしくお願いします。
○立石地域づくり支援室長　　わかりました。指定管理者のほうにその辺、話しまして、各自治会さんのほうに広報板ですとか、そういうのを入れてくれるように。
○宮葉委員　　回覧板は全部いらないけれども、回覧枚数くらいはいただけたらありがたいかなとは思います。
○立石地域づくり支援室長　　はい。ありがとうございます。
○長根委員　　今のお話ともしかすると関係するかもしれないのですけれども、資料５－５の自主事業のところ、２２ページですけれども、幾つかの講座で参加者数が見込めないので中止になった催し物があると思うのですけれども、子育てのこととか、あと更年期の講座とか。それもあれですかね、やっぱり広報が行き届かなくって、そもそも情報が行き渡らないので、これだけ参加者が少ないのか。当日に来てもらってやるというのではなくて、もともとの何ていうのでしょう、ニーズを確保して申し込んでもらってやるような講座という、何でしょうか、来づらいというか。
　ちなみにこの更年期講座とかって、タイトル入れると行きたくても行きづらい方が多かったのではないかなという、何かその集め方もちょっと若干工夫が必要なのかなという気がしますけれども。いかがでしょう。広報不足なのか、それとも何か何て言うのでしょう、気軽に来られるようなものではないというか、もともと予約しなくちゃいけないような。ほかにも何か予約して行くものはたくさんあるとは思うのですけれども。
　特に子育てセミナーとかですと、時間帯にもよりますよね。小さいお子さんがいると、そんなに自由に行けなかったりとかもあるので。
○立石地域づくり支援室長　　確かに今、長根委員がおっしゃるとおり、この講座名というのですか、それでかなり左右される面というか、幕張のほうでも１個あったのですけれども、やはりこの辺の講座名に関しては、より的確にわかりやすいようにということで、お願いはしているところです。誤解を招くような講座名が幾つかあったので、その辺を利用者の方からもご指摘を受けた関係もありましたので、その講座名に関してはわかりやすくということでお願いはいたしております。
○事務局職員　　特に予約制ということではないようなのですけれども、当然周知といいますか、チラシとか掲示ではお知らせしているかと思うのですが、結果として参加がな

かったということで、中止にしております。
○長根委員　　わかりました。
○小野寺部会長　　ほかにございますでしょうか。
（なし）
○小野寺部会長　　では、もう出尽くしたと思われますので、事務局で取りまとめをお願いします。

○小野寺部会長　　お待たせしました。
　それでは皆様からさまざまな意見をいただきましたけれども、施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等の主な意見といたしましては、黒字化が達成され、スポーツ施設の目標も達成されているところでありますけれども、引き続き努力をしていっていただきたいということ、イベント等のお知らせを自治会に配布するなどして、地域に周知を図っていくということをお願いしたいということ、講座名などの工夫を図って、自主事業の人の集め方の工夫を図られたいということがございました。
　これらを踏まえて本部会の意見とすることでよろしいでしょうか。
（異議なし）
○小野寺部会長　　次に、指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握するという観点から、指定管理者の財務状況等に関する意見交換を行うことになっておりますが、先ほどの畑コミュニティセンターと同じ指定管理者ですので省略いたします。
　それでは、先ほどの財務状況も含めて千葉市花見川区幕張コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会の意見をまとめていくということになりますが、詳細については、私と事務局にて調整するということでご承認いただければと思いますが、よろしいでしょうか。
（異議なし）
○小野寺部会長　　ありがとうございます。
　それでは、以上で、平成３０年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての審議は終了します。
　最後に、議題３のその他について、事務局から説明をお願いいたします。
○立石地域づくり支援室長　　それでは、今後の予定についてご説明をさせていただきます。
　本日、委員の皆様よりいただいたご意見等につきましては、小野寺部会長様から選定評価委員会の横山会長様にご報告をいただき、その後、横山会長様から市長宛てに、委員会の意見として答申をしていただきます。
　この委員会の答申を受けまして、市は、委員会のご意見を「指定管理者年度評価シート」に記載し、９月上旬までに、市ホームページに掲載し公表するとともに、指定管理者へ通知をいたします。
　同様に、部会の会議録及び委員会会長からの答申につきましても、同じく市のホームページにて公表することとなります。公表の時期等が決まり次第、委員の皆様にご報告させていただきます。
　なお、本日の部会の会議録につきましては、後日、委員の皆様にご確認をお願いしたい

と考えておりますので、よろしくお願いいたします。
　以上でございます。
○小野寺部会長　　ただいまの事務局からの説明について、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。
（なし）
○小野寺部会長　　それでは最後に全体を通して、委員の皆様からほかにご質問・ご意見等はございますでしょうか。
（なし）
○小野寺部会長　　よろしいでしょうか。
　それでは、皆様方のご協力によりまして、本日の議事はすべて終了いたしました。ありがとうございました。
　それでは、事務局にお返しいたします。
○事務局職員　　慎重なご審議ありがとうございました。
　以上をもちまして、令和元年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第１回花見川区役所部会を閉会いたします。
　委員の皆様、本日は、お忙しい中ありがとうございました。